

<周知・注意喚起>新型コロナウイルス感染症への感染防止対策の徹底等(7/16):理

教職員 各位

理学研究科等災害対策本部長(理学研究科長)

安全衛生管理室長(新型コロナウイルス感染症対策担当)

感染防止対策の徹底等について(通知)

大学本部より、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策の徹底等に係る
続報通知がありましたのでお知らせいたします。

東京をはじめ全国各地で感染者が増加傾向にあり、宮城県内でも感染事案が
続き、極めて注意が必要な状況であるという認識から、理学部・理学研究科
の構成員におかれましても、下記本部通知の内容に十分留意の上、引き続き
感染予防の徹底と各自責任ある行動に努められますようお願い申し上げます。
また、行動履歴の自己管理として、出張、外出先での活動(相手、時間、経路、
訪問場所)の記録にも努めるよう周知徹底依頼がありましたので、この点にも
ぜひご留意くださいますようお願いいたします。

なお、学生には教務課より別途連絡しますことを申し添えます。

****以下、新型コロナウイルス感染症対策本部会議通知*****

令和2年7月16日

各部署長 殿

本部事務機構各部(室)長 殿

新型コロナウイルス感染症対策本部会議

感染防止対策の徹底等について(通知)

東京を始めとする全国各地で感染者が増加傾向にあり、宮城県内においても
6月中旬から感染事案が続くなど、極めて注意が必要な状況です。ついては、
「こまめに手洗い」「マスクの着用」「3つの密を避ける」「体調管理」
などの基本的な感染予防の徹底と、各自の責任ある行動について更なる意識
啓発をお願いします。その際には、東北大学新型コロナウイルスBCP対応
ガイド(TUBCP)、ABCポスター等の啓発ポスター、AIサーマル
カメラ等による検温等を積極的に活用ください。また、感染拡大防止の観点

から行動履歴の把握が重要となります。行動履歴の自己管理、特に出張、外出先での活動（相手、時間、経路、訪問場所）の記録に努めるよう周知徹底をお願いします。接触確認アプリ(COCOA)の活用についても推奨ください。なお、キャンパス内の行動履歴については、スマートフォンとQRコードを活用した入退室管理ツールなども情報部で作成中ですので活用ください。現在の行動指針レベル 1 においては、出張やガイドラインに則したイベント等の実施が可能ですが、常に社会の状況と感染リスクを考えて活動するなど、学生・教職員一人一人の自覚と責任ある行動について、更なる注意喚起をよろしくお願いします。

問い合わせ先

東北大学総務企画部総務課総務係

TEL：022-217-4807

E-mail：gen-som@grp.tohoku.ac.jp

以下、英語版通知**

July 16th 2020

Director of each department

Director of each department (office)

TU Novel Coronavirus Disease Task Force

Thoroughness of Infection Prevention Measures (Notice)

The number of cases is on the rise in Tokyo and other parts of the country, and in Miyagi Prefecture, the number of infected people has been increasing since mid-June. There have been a number of incidents that require extreme caution.

The basics such as "washing hands frequently", "wearing masks", "avoiding 3C (Three Cs)", and "taking care of one's health" are the most important.

We ask that you further raise awareness of the importance of preventing infection in a thorough manner and acting responsibly. To do so, please make active use of educational posters, Tohoku University Emergency Action Plan (TUBCP) and ABC poster, for the prevention of the spread of infectious diseases and the use of AI thermal cameras.

In order to prevent the spread of infection, it is also important to keep a record of your activities. Self-management of behavioral history, especially for recording activities on business trips and when away from home (counterpart, time, route, place of visit), is also important. Please make sure that everyone is aware of these prevention methods. Besides, please recommend the use of the Contact Confirming App (COCOA). And also, you should use creating an access control tool developed by the Information Department that utilizes smartphones and QR codes to keep track of your activities on TU campus.

The current Level 1 Guidelines allow for business trips and events in accordance with the Guidelines, however, each student and faculty member has to be aware of their own awareness and responsibility to always consider the social situation and the risk of infection in their activities. Please give us further warning about certain behaviors.

本部通知ここまで**

東北大学 理学部・理学研究科 総務課
総務企画係 千葉・阿部・甲斐・近藤・八野
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
TEL : 022-795-6346
FAX : 022-795-6363
E-mail : sci-syom@grp.tohoku.ac.jp



東北大学 新型コロナウイルスBCP対応ガイド(TUBCP)のご紹介

○ TUBCP

○「予防と健康」に関する様々な情報が掲載されていますので、ご覧ください。

クリック

QRコードによるトレーサビリティシステム

課外活動施設や講義棟など、多くの人が共用する施設への入退室時に、使用者を記録するためのQRコードを設置します。東北大学IDを活用して個人ごとのログ取るため、万一学内で感染者や濃厚接触者が発生した場合でも、感染拡大予防のためのより迅速な対応を可能にします。

QRコードを設置している施設を利用する際は必ず自身のスマートフォンにて入退室記録の登録を行ってください。

課外活動施設の利用方法はこちら ▶ [詳細](#)

その他詳細は後日掲載します。



感染予防啓発ポスター（ABCポスター）

日本語Ver

今だからこそ感染対策A・B・C

A あたり前のこと **B** バカにせず **C** ちゃんとやる

できていますか？

こまめに手洗い

手洗いをしないで、手で目・口・鼻を触らないようにしましょう

外から戻った時
共有のものへの接触
やトイレの後
ドアノブ、エレベーターの
ボタンなど

咳やくしゃみ

ティッシュやハンカチで
口・鼻を覆いましょう

なければ
袖で口・鼻を覆いましょう

食事を作る前後、食事の前後

マスクの着用
(咳エチケット)

屋内時、外出時、会話時

咳やくしゃみ

ティッシュやハンカチで
口・鼻を覆いましょう

なければ
袖で口・鼻を覆いましょう

3つの密を避ける

密閉空間
こまめな換気を心がけましょう

密集場所
パーティ・懇親会は避けましょう

密接場面
距離をとりましょう
食事や会話をする時も真正面を避けましょう

体調管理

このような症状に気をつけましょう

- ・発熱
- ・喉の痛み
- ・味覚・嗅覚がおかしい
- ・体がだるい(倦怠感)

体調が悪い時
接触を避けて、部屋で休みましょう

(連絡先)
体調が悪いと感じたら、本学ホームページの「体調が悪いと感じたら」又はQRコードを確認願います。
※本学ホームページ
本学トップページ→体調が悪いと感じたら
→所属学部・研究科の教務担当連絡先

英語Ver

Practice the ABCs of COVID-19 prevention

Always **B**e **C**areful!

Are you doing your part?

Wash hands often

NEVER touch your eyes/mouth/nose without washing your hands first.

When returning home
After using common spaces, toilets, doorknobs, elevator buttons, etc.

Before/after preparing & eating food

Wear a mask
(Cover up if you cough)

Inside, outside, when talking to others

Coughs & Sneezes

Cover your mouth/nose with a tissue/kerchief.
Or
Cover your mouth/nose with your sleeve.

Avoid the "3 Cs"

Closed Spaces
Ventilate rooms often.

Crowded Areas
Avoid parties/groups.

Close Contact
Practice social distancing.
Avoid directly facing others when eating/talking.

Monitor your health

Be careful if you have:

- Fever
- Sore throat
- Altered sense of smell/taste
- Fatigue (tiredness)

If you feel unwell...
Avoid others, stay at home

Contact Information
If you feel unwell, please refer to "What to do if you feel unwell" on the university website, or use the QR code.
University website
Top page→ What to do if you feel unwell
→your undergraduate/graduate school Office of Educational Affairs

印刷の上、適宜掲示や配付をしてください。

A2サイズの印刷を希望される場合は、総務企画部総務課(内91-4807、gen-som@grp.tohoku.ac.jp)までご連絡ください。

掲載: https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/newsimg/news20200709_01_4.pdf



各自の自宅等における検温が基本

<TUBCP「体調が悪いと感じたら」より>

1. 発熱等の風邪症状がある時

- ①外出を控えてください
- ②キャンパス内へ立ち入らないでください 復帰の目安:症状が消失して48時間経過の後
- ③健康観察を行ってください ※下記「体温・体調チェックシート」を利用してください。
自宅等で体温測定・体調チェック(朝晩2回)をしてください。

《川内北キャンパス》

- 講義棟B棟と教育・学生総合支援センターに画面確認できる体温測定器(本部棟1F入口に設置と同機)を設置

設置機材



(片平 本部棟入口)

講義棟B棟1F (談話室前)



総合支援センター1F (フロア)



※ “自己管理を推進する意識付け”としての設置であり、体調不良時には自宅静養とすることを徹底。

(感染対策ABCポスター、健康管理徹底の周知掲示を設置場所にも掲示)

- 体育館・川内ホールには非接触型のハンディタイプ測定器を配置

《学生寄宿舍》

- 入居開始者に体温計持ち込みを依頼済
- 入居開始時に管理スタッフによる体温確認
- 学生寄宿舍毎の入居生活ガイドラインを作成・周知し、体温を含めた毎日の体調管理を入居者へ依頼
- 非接触型のハンディタイプの体温計を各管理室に配備し、体調不良者や来館者の体温を測定
- 感染対策ABCポスターを寄宿舍内に掲示し、入居者へ注意喚起



本部では、上記のような体温測定器を準備しています。体温測定器については、財務部調達課調達第二係(内91-4907 yodo@grp.tohoku.ac.jp)までお問い合わせください。

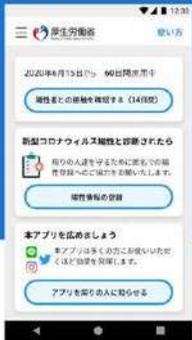


厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

スマートフォンをお持ち方は、インストールください（推奨）

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。



*画面イメージ

厚生労働省 新型コロナウイルス 接触確認アプリ (略称：COCOA) COVID-19 Contact Confirming Application

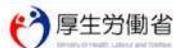
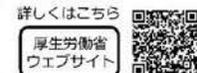
接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取
ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性

・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはありません
・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
・端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
※記録は14日経過後に削除となります
※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※Bluetoothをオフにすると履歴を記録しません



内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室
情報通信技術(IT)総合戦略室

新型コロナウイルス接触確認アプリ 利用者向けQ & A

問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発されています。

問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中のみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

問4 個人情報が収集されることはないですか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中のみ記録され、14日の経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することなく、記録することはありません。

問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただく、帰国者・接触者外来等の連絡先が表示され、検査の受診などが案内されます。

問9 新型コロナウイルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐに来ますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。なお、アプリの設定で「通知をON」にしていたと、通知があった場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

問10 新型コロナウイルス感染症の陽性者と診断されましたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。

陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される手順に沿って、ご自身の症状などを選択いただく、帰国者・接触者外来などの連絡先が表示され、検査の受診などをご案内します。

問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者には氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。



学内トレーサビリティシステム①

講義室等の入退室を行動履歴として管理するシステムを準備しています。

○簡易入退室トレースの全体像

GoogleSheetsに部屋情報をマスタとして登録すると、「入室」「退室」それぞれのURLとQRコードが生成される

QRコード付き「入室」「退室」ポスターが出来上がるので、印刷して掲示する

スプレッドシートにログとして記録される※

スマートフォンで読取



※ここで収集した個人情報は、メールアドレスと入室・退室ログであり、国立大学法人東北大学個人情報保護規程に則り、新型コロナウイルス感染症対策に係る調査以外の目的外利用はいたしません。



○運用イメージ

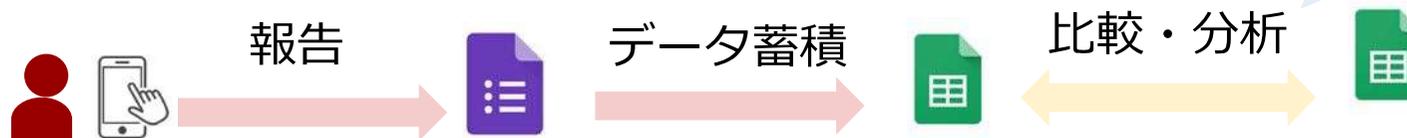
<平時の運用>

各部屋のドアの外側には「入室」のQRコード、内側には「退室」のQRコードを貼っておき、入室・退室それぞれのタイミングで必ずQRコードを読み込むルールとし、データを蓄積する。



<感染者が出た場合>

感染者による報告フォーム等を準備し、そこから取得したデータと入退室蓄積データを突き合わせることで、感染が疑われる時期前後の濃厚接触者を割り出す。



本システムについては、オンライン業務推進課 (solution@tumail.tohoku.ac.jp) までお問い合わせください。